

若いなかま

若いなかま No.195

2016(平成28)年 3月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合同庁舎6F

TEL(092)643-6001 FAX(092)643-6003

E-mail : net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページ : http://www.fayd.jp/



目次

表紙 福岡県民さわやかマラソン	1
福岡県民さわやかマラソン	2
特集「子ども食堂」	3
福岡県青少年育成指導者研修会および 家庭の日・オアシス運動 最優秀作品表彰式 ...	4

乳幼児教育研修会	5
地域の話題(刈田町、嘉麻市) 福岡県青少年育成アドバイザー連絡協議会の紹介 ...	6
(公社)福岡県青少年育成県民会議賛助会員のご紹介 ...	7
青少年育成“考” その他	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。
(昭和45年 社団法人 平成25年4月1日公益社団法人に移行となる)



第15回 福岡県民さわやかマラソン

時：平成27年11月29日(日)
場所：海ノ中道海浜公園



ゴールに向かってスタート!!

今年で15回目を迎えた福岡県民マラソンは11月29日(日)に海ノ中道海浜公園広場で開催された。昨年の大雨の開催に比べマラソンにはちょうど良い気温、湿度の快適なコンディションの下、2,135人の参加者は元気に楽しく公園内特設コースをそれぞれの目標に向かって駆け抜けた。

東住吉小学校児童は全員参加
同校では毎年全員参加で取り組
み今年も182名が参加した。このマ
ラソン大会に向けて「毎日8時33
分から38分までの5分間を健康タ
イムとして走っている。風邪をひ
かない、怪我が少ないなど効果が
出ている」と引率の平山先生は話
していた。また恒例の選手宣誓は
同校6年生の入口紀晃君と渡辺光
里さんが力強くおこなった。



選手宣誓する入口君と渡辺さん

開会式

このマラソン大会は、小川洋泉知事を大会会長として色々な団体と協賛して実行委員会形式で開催され、県民会議もその一翼を担っている。

後藤副実行委員長の大会宣言から始まり、小川知事からは「それぞれの目標達成や健康増進に向け、また195組の親子ペアの皆さんは思い出づくりに、そして明日への活力になることを期待する(代読)」とエールが送られた。

参加し易い・ユニークな種目

参加者は北海道から鹿児島まで90歳の高齢者から小学生まで幅広い年齢層が参加できる。このマラソン大会の特徴の一つは種目が1kmから10kmまで細かく分かれて初心者や親子一緒に走れる(1km・2km・5km・10km)楽しさもある。1kmは3年生からスタート。次に2年生・1年生と2分おきにスタートする。今回の最初の1位は大野城市から参加した(大野城小・3年生)上村洋司郎君、タイムは3分24秒。

普段はクラブに所属して走ったり野球や水泳もしているスポーツ少年。初出場は1年生で3位、昨年は2位と早くも目標達成。1kmの最後の種目は親子マラソン。この日2位でゴールした田中大智さんと秀虎君(9歳)親子は昨年の覇者。久留米市から2回目の参加。今年も優勝を狙って参加したが、1位と1秒差で惜しくも2位。残念そうだったが「来年の目標が出来ました」と楽しそうに話してくれた。



田中さん親子

種目別入賞者

- ▼1キロ(小学1年「男子」) ①植木泰翔 ②石橋丈一郎 ③大蔵壯太郎 「女子」 ①御手洗奈央 ②佐藤希美
- ▼3キロ(小学2年「男子」) ①赤池勇思・村上 慶 ③森 悠翔 「女子」 ①木華愛 ②藤田紗英 ③濱口 舞(小学3年「男子」) ①上村洋司郎 ②藤本晴空 ③島村真登 「女子」 ①上野詩音 ②長 涼葉・湖上彩代(親子) ①長谷川匡章・駿人 ②田中大智・秀虎 ③江上勝也・泰馳
- ▼2キロ(小学4年「男子」) ①丸山永速 ②脇田哲匠 ③赤池泰地 「女子」 ①櫻本心子 ②吉崎美桜 ③長谷田菜優(小学5年「男子」) ①原田幸之介・那須尋仁 ③安達凛太郎 「女子」 ①庭瀬沙耶 ②田中咲蘭 ③尾形実穂(小学6年「男子」) ①河津尚希 ②岩瀬 師 ③別當優史 「女子」 ①安部咲月 ②工藤琉楠 ③工藤琉楓(中学生「男子」) ①北村弦大 ②鎌田棟馬 ③高浜優志 「女子」 ①田中亜可梨 ②櫻本羽菜 ③櫻本沙季(高校生「男子」) ①福江真吾 ②堤拓海 ③高倉功気 「女子」 ①野上奈々世 ②藤春未夢 ③佐野礼佳(親子) ①橋本隆一・桃佳 ②上岐学司・崇公 ③大久保 忠・智矢
- ▼5キロ(中学生「男子」) ①松清優樹 ②三浦澁平 ③梅村遥希 「女子」 ①田村梨菜(高校生「男子」) ①永田翔也 ②力武泰雅 ③中村萌人 「女子」 ①石崎理沙 ②池田未来 ③10キロ(高校生「男子」) ①山本世知 ②中村勇斗 ③田尻温士

大きな銀行より、
大好きな銀行に
なりたい。



この街でいっしょに
福岡中央銀行

特集

こども食堂

こども食堂

経済的な理由やひとり親家庭で十分に食事がとれない子どもや孤食でさみしい思いをしている子どもたちの居場所づくりを目指す活動が「子ども食堂」である。2012年8月

東京都大田区の青果店(近藤博子さん)が「子どもが一人で立ち寄れる地域の居場所づくり」を目指す善意の食堂が「子ども食堂」の始まりである。この活動は全国にそして九州にも広がっている。福岡県でも各地で「子ども食堂」の取り組みが始まっている。昨年8月に福岡県で初めて子ども食堂をスタートしたのが「くるめこども食堂」(久留米市)である。1月31日、日曜市で開催された「こども食堂」を訪ねた代表者の河野大助さんにお話を伺った。

くるめこども食堂

河野大助(38歳)さんは前からおなかをすかした子どもたちや行き場のない子どもたちのことが気になり、一人で夜間パトロールをして見守りをしたり、D

Vの家庭の相談も受けていた。母親や子どもたちの居場所づくりを考えていた矢先、昨年7月に東京都大田区の「子ども食堂」をニュースで知った。発起人の近藤博子さんに直接電話をかけ、その内容に共感、近藤さんの「ゆつくりやりなさい」の一言に後押しされ、8月に、久留米の中心街のイベントスペースに「くるめこども食堂」を開設することにした。



100円割引に
なる、くるめ
こども食堂の
パッチ

◆誰でも気軽に立ち寄って!

運営は寄付や差し入れなど、足りない物は河野さんが自費で賄っている。メニューはカレーや豚汁等。この日は豚汁だった。毎回、100皿位を準備する。一日平均40人から50人が利用している。一人



300円で何杯でもお代わりができる。お金がない子どもたちにもふるまっている。また「親子でも高齢者でも町ゆく人が気軽に立ち寄ってくれる場になればいい」と言う。この日はボランティアの方が5

く6人手伝っていた。福岡市から来たという女性は「新聞を見て初めて参加しました。これからもできるだけ協力したい」と。また鳥栖から来た30代の男性はやはり新聞を見て参加。「今日は2回目です。今後でもできるだけ参加し、手伝いたい」と話す。河野さんは「ボランティアにも子どもにも素性は聞かない。来たい人ができることをすればいい、ゆつくりやっというつもり。一人で始めたことだから」と。



代表の河野さん

◆月一回の開催から常設へ

これまでは毎月最終日曜日のイベント開催だけだったがこれでは不十分なので常設する計画をしている。今、その場所探しをしている。

しかし、運営は厳しいので皆さんに寄付やカンパを募っている。この活動に共感できる方は、「くるめこども食堂」に是非協力して欲しいと呼びかけている。

連絡先は左記のとおりです。

☎080-4695-4791 河野

◆福岡県下に広がり!

大野城市に「はなちゃんのみそ汁食堂」が2月7日にオープン

「はなちゃんのみそ汁」の原作者・安武信吾さん父娘も応援しているプロジェクトがスタートした。安武さんの言葉「食べることは生きること」をコンセプトに多くの協力者が集まり始動。大野城市にはもう一か所「おおのじょうこども食堂」も開設している。那珂川町には松木公民館に「なががわこども食堂」を昨年12月25日にオープンしている。

◆自治体初・北九州市が28年度開設へ

北九州市は4月から自治体初の「子ども食堂」を開設すると発表。小学校高学年と中学生を対象にした「子ども食堂」を市内2か所に開設する。スタッフが学習支援や調理や清掃などの幅広い支援もする考えた。市民レベルの活動が広がる中、北九州市の自治体初の取り組みが注目されている。色々な団体や個人など支援の形は違っているが、確実に支援の輪は広がっている。



平成27年度 福岡県青少年育成指導者研修会

日時：平成28年1月23日(土) 場所：福岡県中小企業振興センター



《家庭の日・オアシス運動》個人2名に表彰状

研修会開催に先立って「家庭の日・オアシス運動」最優秀作品の表彰式が行われ、応募総数888点の作品の中から、ポスター部門には、宗像市河東中学校3年の古賀美陽子さん、作文部門には、みやま市大江小学校4年の津村 凜さんが選ばれた。受賞後、津村さんの作文の朗読があり、インタビューで古賀さんは「家族皆が笑顔でいるところを色彩を明るく表現した」津村さんは「家族のこと、お母さんのことを書くのは、はずかしかったけど、自信を持って書いた」と話してくれた。

主催者挨拶で石田喜章会長は、近年、失われてきている保護者、すなわち家庭と地域の教育力の回復と合わせて、家庭、学校、地域企業職場が緊密に連携し、明るい社会環境を作り出すとともに、大人自身が変わる努力をしなければならず、青少年健全育成に携わっている者の役割、使命はますます重要になっていくと述べた。挨拶が続き、二人の講師による研修会が行われた。

講演1 より良い親子関係の構築 —子どもの「しつけ」を考える—

アクティブ・ペアレンティング・ジャパン
代表 野中 利子氏



アクティブ・ペアレンティングのアクティブは行動的という意味があり、ペアレンティングは二つの組み合わせをするということ

で、より良い親子関係講座と呼んでおり、1985年にアメリカのマイケル・ポピキンという心理学者の先生が考案した。アクティブ・ペアレントを勉強すると、最初に、親と子どもは平等と書いてあり、親が偉くて子どもは親の言う通りにすればいいという上下関係ではなく、人格、感情、気持は人間として同じであり、横の繋がりが大事である。「しつけ」は何のためにするかというと、子どもを守るためにすること、子どものための「しつけ」であり、親のためではない。そして子どもの成長・発達に合わせて「しつけ」をすることが重要である。どんなときに「しつけ」が必要

かというところ、まず安全確認や危険回避、社会のルールやマナー、約束事など親が手本となり行動で教えること。赤ちゃんが立って歩くのは親をまねるからである。「しつけ」はこうしてはいけな

講演2 スマホや携帯電話等の 犯罪から子どもを守る 方策と安全な活用方法

NTTドコモ九州支社
「スマホ・ケータイ安全教室」
インストラクター
中村 真子氏



携帯電話、スマートフォンは今日、非常に子どもたちの間で普及している。小・中学生にスマートフォンは必要ないと思

が、使い方がわからず使ってしまうなど非常に危険である。ではどこからどこまでアクセスしているかというところ、ゲーム機や音楽プレーヤーといったところから、インターネットにアクセスしている。無線の電波であるワイファイを利用し、市役所、商業施設や知人の家の近くで無断で利用しているが、電波を使うと親がフィルタリングサービスをしていても子ども達を守ることはできない。基本的には、まずフィルタリングサービスの利用を小中高生と

異なるサービスの利用も必要であり、保護者の努力義務でもある。次に一番の問題はラインであり、文字でのやりとりの特徴として、
・ 気持が伝わりにくい。
・ 短文でのやりとりは言葉が足りず誤解されやすい。
・ 思ったことをそのまま文字にする、きつい文章になりやすい。
・ 文字として残ることによって悪感情を引きずってしまう。
又、ネットでの特徴は、
・ だれもがちょっとしたきっかけから被害者や加害者になってしまう。
・ 深く考えず暴力的な言葉を書き込んでしまいがち。
・ 昼夜関係なく続くため短時間に深刻化しやすい。
・ 軽率な投稿による情報発信は、インターネットサイトや掲示板、SNSなどに反論や罵倒のコメントが集中し、收拾がつかなくなる。これを「炎上」というが、この行為に対する被害者が出た場合、損害賠償を求められることもある。インターネット上の写真や動画は、いつまでも残り、消しても処理できず、拡散を止めることができない。
子どもをトラブルから守るため周囲の大人ができることは、
・ ネットの利用状況を保護者が把握する。
・ フィルタリングの利用をし、ルールを決めて適切に管理する。
・ 子ども自身が活用能力を高められるように促す。
・ 普段からスマートフォンやインターネット関連の話題に関心を持つようにする。そして、何かあったときに相談しやすい雰囲気を作り、トラブルのサインを見逃さないようにすること。



いつもそこに、いつでもそばに。



ココロがある。コタイがある。
西日本シティ銀行

平成27年度 乳幼児教育研修会

平成28年2月2日(火) 10:30~15:00

福岡県吉塚合同庁舎8階 803会議室



乳幼児を抱える保護者にとって、身近に育児不安や悩みを相談できる人・場所の存在は必要不可欠である。反面、多岐にわたるメディア機器の発達により、子育て情報は知りたいと思えば即座に手に入る。ぐずる子どもにスマホの画面を見せてなだめるという光景を目にすることも多くなった。今年度の乳幼児教育研修会では、「人」と「人」をつなぐことで子育ての情報を共有している3つの市による「親子教室」の取り組みと、メディアシャワーの中で育つ子どもの現状に警鐘を鳴らす、特定非営利活動法人 子どもとメディア/常務理事 三宅玲子氏による、基調講演が行われた。

「親子教室」事業報告

◇ 小郡市青少年育成市民会議(取組1年目)

「〜みんなでゆっくり大きくならうね〜」
小郡市の親子教室では、人間形成の土台である家庭と親子関係のあり方を学び、家庭の教育力向上を目指している。また、『子育て』『親育ち』にスポットを当てた託児付き学習会を開催している。27年度は、「子どもの成長に応じた子育てに関する講座」「親の感性・知性・教養を磨く講座」「地域や社会に関する講座」を11回実施した。

今年度より「親子教室」として小郡市生涯学習課・家庭教育学級と市民会議が共催することにより、「コンサートなど大きな催しを開催することができた。しかし、参加者の減少や、子育て世代のニーズを把握するなど課題もある。

今後目指すのは、参加ししやすい「親子教室」

☆親子のふれあいを中心にした講座

☆たくさんの方が参加しやすい会場の1本化

☆広報の充実(織姫・彦星キャンペーン通信)

◇ 田川市青少年育成連絡協議会(取組2年目)

「0歳期からの親子教室」

田川市ではこの事業に取り組んで28年目を迎えた。高齢者対策と子育て対策は車の両輪と考え、市内にある福岡県立大学や田川医師会等の協力を得ている。

27年度は、小児科医による「感染症やワクチン」の話をはじめ、消防本部の救命救急士による「熱中症対策と事故予防」、「子どもと本を楽しもう」絵本も子育てサポーター、県立大学教授による「元気な子どもに育てよう」運動による体づくり」など5回の講座を開いた。

広報活動にも力を入れ、ポスター・チラシは市内保育所・幼稚園、小児科などに配布した。

今後の課題として、☆開催場所を地域に

☆時間を短縮し、同日2講座の開催

☆関心を引くチラシ作り

☆講義形式のみでなく実技など取り入れる

☆参加者の情報交換をあげた。

◇ 柳川市青少年育成市民会議(取組3年目)

「子育て広場」このゆびとまね

in 蒲池中学校

平成25年度より「親子教室」の指定を受け、柳川市青少年育成市民会議・子育て支援グループ「このゆびとまね」が運営している。活動の目的は①子育て親子が地域に出向き交流するきっかけ作り②乳幼児・中学生・保護者のふれあい体験③中学生にも「命の大切さ」「家庭の大切さ」を伝える。年間10回開催。教室の一日は10時30分〜15時。午前中は親子でベビーマッサージや図書館司書によるお話し会。13時からの自由遊びでは学校の昼休みを利用して中学生と交流。恐るおそる赤ちゃんの肌に触れたり、母親の愛情を感じることができることは、教科書では学ぶことができない貴重な体験の場となった。しかし、この三年間の事業をふり返ると、中学生の昼休みは忙しく、乳幼児の母親の仕事復帰が早まり、親子の参加も減少。今後のふれあい体験が難しい現状となっている。

基調講演

■テーマ
子育てで「メディア」過信の恐ろしさ



講師 三宅玲子 氏

- 福岡県非行防止・ネット依存防止地域ミーティング/講師
- 特定非営利活動法人 子どもとメディア/常務理事 メディア・インストラクター

「子どもたちが10数年後18歳になったとき、どんな人になってほしいですか?」「豊かな子ども期と聞いてどんな場面を想像しますか?これを頭において今日の話聞いてほしいです。…講師のこんな語りかけから始まった。

街頭テレビや呼び出し電話の時代から半世紀たち、今、インターネットで世界中の大人も子どもも繋がっている。特に低年齢化した子どもの将来的なネット依存や、安易な情報発信による事件の発生は深刻な社会問題となっている。

日本の子どもの心と体は育っていない

今、大人は危険を感じないといけない。外遊びの不足は、運動能力だけでなく自律神経の発達不全にも及ぶ。また、2010年、日・米・中・韓国の比較調査で日本の高校生は自尊心が最も低いことがわかった。

スマホに子守りをさせないで

ベビーアプリに頼っていませんか?リアルな人との関係でしか子どもは育たない。声かけや抱っこの繰り返しで親子の絆が生まれる。若いお母さんがうまく子育てしなくてはと、心配しないように「社会が子育てに寛容」になって。

ちょっとメディアから離れてみませんか

時間や会話・静けさを取り戻せる。見たい時に見る。オフが普通で必要な時にオンという習慣を。親がスマホに夢中で乳幼児期の子どもの関心や興味に気づかないのは、体力・五感や共感力の育ちに影響がある。最も大事な「安全」への心配りができず、事故に繋がることも。デンマークでは、子どもを「未来の社会の担い手」として大事に育てる。人と関わり、自然体験や自尊心が育つことを何よりも大切に。

☆子どもが育つ大切な3つの「…たい」

- 1 ほめられたい。(特にお家の人に)
- 2 認められたい。(すごいね)
- 3 役に立ちたい。(小さな子ども)

(抜粋)

「苅田山笠特別補導パトロール」

苅田町青少年育成町民会議

10月4日に開催された神幸祭では特別補導パトロールを実施しました。

沢山さんの人出で賑わう会場および周辺道路を午前中からパトロールを開始し、青少年の育成に悪影響を及ぼす恐れのある行為や物品などに目を向けて注意を払いました。

また、会場内では多くの幼児や小中学生が集まっていることから、重点的なパトロールを行うとともに子どもたちとも積極的に言葉を交わすなど、子どもたちとのコミュニケーションを図り無事にパトロールを終えることができました。

町民会議では毎月の定例夜間パトロールをはじめ、「みなと祭り花火大会」、「盆踊り大会」などのイベントに際しては積極的なパトロールを実施しており、青少年のすこやかな育成に向けて頑張っています。



各地の市町村民会議等の活動を紹介するコーナーです。今回は、苅田町、嘉麻市、福岡県青少年育成アドバイザーの活動を紹介します。

地域のわだいな

第4回嘉麻市中中学生フェスタ

嘉麻市青少年健全育成住民会議

第4回嘉麻市中中学生フェスタを10月18日開催しました。中学生が絵画の展示やバザー、主張発表や朗読、バンド演奏などを披露しました。

今回は市内全5中学校の代表生徒による「中学生サミット」を初開催。10人が登壇し嘉麻市について発表しました。「地域の人が温かい」「自然が豊か」という一方、「希望高校に進学しても公共交通手段がない」「街灯が少ない」などが挙げられました。



その後「市内にゴミが多い」に焦点を当て討論。「ウォークラリーでゴミ拾いを」「啓発ポスターを募集」などの意見が出されました。真剣な生徒たちの姿を見て、次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、活動を続けていかなければと思います。

福岡県青少年育成アドバイザー連絡協議会の紹介 会長 下茂野 和夫

「福岡県青少年育成アドバイザー連絡協議会」（略称、アド連）をご存じですか。この度、（公社）福岡県青少年育成県民会議の正会員として登録しました。「アド連」の会員は、当時の（社）青少年育成国民会議が青少年育成プログラム研修等への受講を通じて、認定した青少年育成アドバイザーです。

活動としては（公社）福岡県青少年育成県民会議が全県的な事業として実施する、少年の野外学習事業や少年の主張福岡県大会、更に福岡県民さわやかマラソン大会等に参加し支援を行っています。また、地域社会においては、会員の特技を生かした青少年育成活動を行っています。現在の会員数は20名足らずですが、会員自ら県民会議の理念とともに活動しております。今後も福岡県の青少年健全育成のため会員一同力を合わせて前進してまいります。

新たな会員の募集も行ってまいります。皆様方のお力添えを待っております

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行



平成27年度 (公社)福岡県青少年育成県民会議へ賛助いただいた会員のご紹介

(敬称省略：50音別・平成28年2月1日現在)

次の世代を担う青少年の健全育成活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。心から御礼を申し上げます。何卒今後もご協力ご支援をお願い申し上げます。

特別賛助会員 (25 団体)

(株) アキ ラ 水 産 (株) ア サ ヒ 緑 健 エントリーサービスプロモーション 九州電力 九州旅客鉄道 (株) 九 州 電 工 コカ・コーラウエスト J A パンク 福 岡 西 部 ガ ス	(株) 筑 邦 銀 行 (株) 西 日 本 シ テ イ 銀 行 (株) 西 日 本 新 聞 エ ス ピ ー セ ン タ ー (株) 西 日 本 鉄 道 (株) 日 本 た ば こ 産 業 日本映像ソフト制作・販売倫理機構九州支部 (株) 福 岡 中 央 銀 行 福岡県アマミューズメント施設営業者協会	(一社) 福 岡 県 共 栄 会 福 岡 県 町 村 会 福 岡 県 信 用 保 証 協 会 (公社) 福 岡 県 宅 地 建 物 取 引 業 協 会 福 岡 県 公 認 ボ ウ リ ン グ 場 協 会 (株) 福 岡 中 央 銀 行 ボ ン フ ウ エ イ
--	---	---

賛助会員《団体》(61 団体)

(株) あ ら い NPO飯塚市青少年健全育成会連絡協議会 石橋 印刷 (株) 石 村 萬 盛 堂 系田町自由ヶ丘老人クラブ 岩崎建設 岩本明子英会話教室 村上建設 (株) 工 イ コ (株) お お す み 制 服 大野城ライオンズクラブ (一社) 九 州 学 士 会 福 岡 支 部 粕屋殖産 (株) 穂 無 線 ホ ー ル テ ィ ン グ ス (株) 苅 田 ラ イ オ ン ズ ク ラ ブ (合) キ ャ メ キユ一サイル 九州ホテ 久留米商工 桂川ライオンズ	(医) 光 風 会 高 邦 会 公立学校共済組合 小竹町御徳工業団地企業連絡協議会 (株) 三 裕 会 拾 六 町 病 院 (株) 三 日 鐵 住 金 八 幡 製 鐵 所 NPO法人次世代の子カラFUKUOKA (医) 成 晴 会 堤 病 院 (株) 瀬 利 宗 助 商 店 高 木 鳥 印 刷 社 (株) 東 海 上 日 本 新 聞 印 刷 館 (株) 西 日 本 新 聞 製 作 所 (株) 二 宮 佛 具 (株) ハ ー チ ャ ン (株) ヒ ュ ー リ ス ア カ テ ミ ー	(株) 深 町 印 房 福岡空港ビルディング 福岡県私立学協 福岡県商工会連合会 (社) 福岡県私立幼稚園振興協 福岡県遊技業協同組 (一社) 福岡県労働者福祉協 (社) 福 岡 コ ー プ 二 福岡県農業協同組合中央会 富士火災海上保 (学) 藤 川 学 園 (株) 測 上 フ ァ イ ン ス (株) フ ラ ワ ー ビ テ ー (株) 井 松 島 産 業 (株) ミ ナ ミ 商 事 (株) 明 治 安 田 生 命 保 険 相 互 会 社 (株) 百 田 工 務 店 (株) 山 本 組 (株) ワ イ ズ ヨ シ ハ ラ
---	---	--

個人賛助会員の皆様

青木 毅 青野 隆子 赤星 満子 秋山憲一郎 秋吉 幸二 浅野 翔太 阿多 一信 穴見 英三 新井 潤 新井 洋子 有馬 博 有吉キヌ子 有富 貞義 井浦 蘭子 伊折 千秋 石川 治夫 石橋 具規 市川 民江 伊東 清寛 伊藤 千鳥 伊東 望 稲富 明 井上 高顕 井上 俊治 猪瀬 正典 入江 智子 岩村 幸二 因 征四郎 植木 節美	植田富士子 上野 一成 上村 育也 牛島 昌哉 内田 隆敏 内山 慶子 梅木 聡子 浦田 幸子 江川 洋 江崎 恵子 江崎美津子 江崎 峰子 江副真喜子 江副 正昭 大内マツノ 大澤 良一 大島 勇夫 太田 強 太田 哲也 大西 潤平 大橋 拾子 大原 始 大庭 奈名 大曲 昭 大迫 和彦 大藪 和子 緒方 祐介 岡松 直照 村 潔	岡村 憲人 奥 久志 尾座本宣一 忍田十三子 越智 康久 落石 藤隆 音成 浩子 戒田 協枝 小林 惠治 陰山 博 笠木 一夫 笠原 高司 香月 均 加藤 重敏 金澤 克朋 金子 博 榊島 篤 榊島 義幸 榊島 謙治 神谷 龍治 辛島 秀典 菊次 和夫 城戸 徳郎 久保田浩介 熊谷 博季 熊野 君男 熊本 幸雄 倉富 昭正 厨 元	古賀 祐三 古園井広記 児玉 弘 後藤 秀昭 後藤 政喜 小林 祥彦 小林 孝行 小林 正之 小林 美穂 小宮 重 小宮 良俊 小山雅千子 河野 達海 是枝 高司 権現 昭二 坂口 千恵 指方 義弘 佐藤 和久 佐藤 俊之 芝 奈美 芝 義勝 紫牟田和男 下茂野 寛 真美 白土 聖司 末田 全次 末崎 牧 末次 威生 末松 六則	須貝由美子 杉原 憲宏 鈴木 康敏 陶山 正徳 副島 紀身 園田 秋吉 染矢 敬雄 尾尾 泰幸 高橋 宏 田和 昭壽 竹井 章 竹井 澄子 竹田 芳朗 竹永 悟 竹本 邦利 竹本 重利 田代 強一 田代 保博 田中 一郎 田中 一弘 田中 浩治 田中 信 田中 睦子 谷 治子 田畑 隆明 田畑慎一郎 塚本 靖 辻村 哲弥 津上 正幸	手島 道子 徳永 文昭 中下 啓志 中島貴美子 中島 公昭 中島 俊介 中島 達朗 中嶋 俊子 中島 利男 中島 浩 中嶋 博之 永野 歩美 永野 仁 長野 一江 長野 繁雄 長野 士郎 長野 春奈 中原あや子 中原 恵幸 中村 香代子 中村 清 中村 征一 中村 治幸 中村 睦子 滑石 隆紹 瀬波 千明 瀬波 英次 西岡 辰祐 西山 隆	二宮 和子 野上 明倫 野口 和恵 野田 好秋 則光 茂雄 畠田美恵子 葉玉 博幸 八谷 正範 花田 拓 花田 真雄 馬場 京子 馬場 忠久 早川 良子 林 賢太郎 林 初代 原 明義 原 桂子 原口 庄望 神 慶子 東 久恵 東野 芳枝 久門 尚星 久下 正俊 泥谷 和男 秀 ハツ工 日比 健次 百武 剛 兵頭 正俊 平田 美子	平野 真規 平野 学 深見 健児 福井 悦子 福澤 信義 福島 正人 藤田 孝子 藤田 直子 藤田 信治 藤竹庄次郎 藤津権三郎 藤野 真美 藤本 廣子 藤本 晶子 藤山 泰三 洲上 孝 船越 章夫 古川 孫一 古川 雅子 戸次 光生 別府 隆文 堀口 國勝 堀家 克巳 真子 太 増田美智代 松石 量則 松枝 米洋 松岡あか 松岡 久代	松隈 秀隆 松本 純也 松本 美香 松本 洋子 松本 好成 丸山美恵子 三木 茂靖 三島 正浩 満生充一郎 光延 時江 南 巧 南 博 宮崎 陽子 宮永登志男 見雪 和之 牟田 敏雄 村上 治 村上 信子 村田 浩 村田 洋平 村山真知子 本園 明 森田 栄三 森永 武彦 森野美枝子 八木 知英	八木 信次 安武 恵明 彌永九州男 山田 和子 山田 貴文 山田 憲勝 山根 千里 横溝彌太郎 横山 繁利 吉 まち子 吉里 光世 吉田 壽一 吉田 善仁 吉田 正宇 吉武 寛将 吉次 美 吉留 節子 吉野 利子 吉原 陽子 米倉 秀之 力武 暁 力丸 敬光 渡辺 常朝 渡邊 史 渡邊 康夫
--	---	--	---	---	--	--	---	---	--

事務局だより

主な行事(7月11日16日、8月28日、3月28日)

11月 13日(金)第4回県民マラソン大会事務局会議

(以降、1/19)

16日(月)第11回広報部会

(以降、1/19、2/9、2/23、

2/29、3/8、3/15)

17日(火)青連協常任委員会

(以降、12/15、1/21、

2/23、3/15)

26日(水)27日(金)中央研修会・代表者会

全国総会

29日(日)県民マラソン大会

6日(日)「育成キャンプ」報告会

7日(月)50周年記念準備委員会

25日(金)第3回理事会・合同部会

23日(日)福岡県青少年育成指導者研修会

26日(火)第3回家庭部会(以降、3/17)

2日(火)乳幼児教育研修会

10日(水)県民マラソン大会監査

18日(水)第7回健全育成部会

20日(金)21日(日)青連協青年リーダー

養成事業

23日(火)県民マラソン大会実行委員会

26日(金)共同募金会ヒアリング

16日(水)第4回総務部会

18日(金)第4回理事会

24日(水)合同研修会

25日(金)29日(火)第15回福岡県江蘇省

青少年閉書交流大会

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

194号の訂正とお詫び

平成27年11月15日付け発行の広報紙「若いなかま」194号において4Pの「第17回福岡県青少年囲碁大会 知事杯争奪戦 対戦結果で「優勝 木下龍太郎 筑紫学園高校1年」を間違っ...

編集後記

今回は全国で注目されている「子ども食堂」を取り上げました。福岡県で初めて取り組んでいる「くるめ子ども食堂」取材し、特集記事にしました。始まったばかりの活動ですが、各地で反響を呼んでいます。機会があればその後の状況も伝えたいと思います。情報を発信することにより、問題を抱える子どもたちの環境改善や支援に繋がればと思います。

広報部会長 馬場 京子

この用紙は、森林資源保護のため再生紙を使っています。

青少年育成考

「大人が変われば...」

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議

理事・総務部会長

日比健次



青少年の健全な育成には、家庭・学校・地域の協力が重要であると常に言われ続けていますが、熱心に取り組まれているところでは、その成果が「若いなかま」の地域の話題や研修会等での実践発表で見られ、これに携わっている指導者の皆さんのご努力がうかがわれます。

最近の青少年に関わるニュースを見ると、青少年の範疇とされている十八歳が選挙権を得て国政に参加の途が開かれました。より良い国づくりのために、社会人としての健全な育成へ私たちの責任が益々重要になってきます。他方、「いじめ」、「集団暴行」、「身勝手な言動」など、エッまたかかと思えるような事件が相次いでいます。中でも子どもが被害者となる事件の中で一

番心が痛むのは、命に対する尊厳が損なわれている事件です。それは「児童虐待」です。

この世に生を受け健やかな成長が期待される子どもたちが、無残にもその前途を閉ざされるということは悲しいことです。

この事件を起こした親(未成年を含め事情が多々あるとは思いますが)を「未熟な大人」と呼ぶ人がいます。

青少年育成の「スローガン」である「大人が変われば、子どもが変わる」をも一度思い起こして、家庭・学校・地域に加え行政、企業などあらゆる関係者が、このような事象が起きないよう何ができるか、どうしたらよいかを、皆で考えようではありませんか。

青少年の健全育成のために 賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議では、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。県民会議の活動に賛同いただく賛助会員の募集を行っています。会費は左のとおりです。電話(092-643-6001)いただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

- 個人 1口 1,000円
■ 法人又は団体 1口 15,000円
■ 特別賛助会員 1口 50,000円



納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。
西日本シティ銀行千代町支店(普通預金) 3053033
福岡銀行県庁内支店(普通預金) 526475
筑邦銀行福岡支店(普通預金) 1597091
福岡中央銀行本店(普通預金) 1030569
県庁内郵便局郵便為替口座 01700-5-4057